

## 導入事例

MessageLabs

SYMANTEC  
HOSTED  
SERVICES

### キャセイパシフィック航空

これ以上、従来型のウイルス対策方式だけに頼っているわけにはいかなないと実感していました。特にデスクトップレベルでは、脅威が認識されてからでないと対策が打てず、その段階ですでに被害が発生している場合が少なくありません。

キャセイパシフィック航空  
IT アーキテクチャ  
アナリスト  
Allen Yeung 氏

香港を本拠地とする キャセイパシフィック航空 は、32 の国と 92 都市を結ぶ定期旅客便および貨物便を運行しています。同社の路線網は、東南アジアからヨーロッパ、北米、アフリカ、中東、ニュージーランド、オーストラリアに広がっています。路線網と航空機(現在 88 機)の拡充に努める キャセイパシフィック航空 は、世界的な航空拠点として、さらに中国本土への玄関としての香港の繁栄に貢献しています。

世界各地で約 15,000 人の従業員が社用メールを利用する同社では、2001 年時点でメールの受信数が月に 100 万通以上に達していました。インターネットの脅威が増え続け、複雑性や重大度でも深刻化している現状から、データとコミュニケーションのセキュリティが大きな懸案事項となっていました。

メールは キャセイパシフィック航空 におけるコミュニケーション戦略の要であるため、従業員間、提携先、顧客との通信を守るうえで、もはや従来のウイルス対策インフラに頼るわけにはいきませんでした。

「幸いにも重大なウイルスの問題に遭遇したことはありませんでした。しかし、メール脅威が増え続ける中、今後の脅威に対抗していくには、手をこまねいているのではなく、よりプロアクティブな方法でビジネスを保護する必要があると認識していました」と、キャセイパシフィック航空 の IT アーキテクチャアナリスト Allen Yeung 氏は語ります。

新しいメール脅威が出現してから、従来型ウイルス対策プロバイダがシグネチャを提供するまでの間、脆弱な期間が存在することも、キャセイパシフィック航空 は懸念していました。シグネチャファイルが出る前なら大規模なアウトブレイクが可能なので、ウイルス作成者はこのギャップを巧みに利用するようになっています。

「これ以上、従来型のウイルス対策方式だけに頼っているわけにはいかなないと実感していました。特にデスクトップレベルでは、脅威が認識されてからでないと対策が打てず、その段階ですでに被害が発生している場合が少なくありません」と Yeung 氏は語ります。「よりプロアクティブな保護対策が必要でした。その方法の 1 つが、メールセキュリティを企業ネットワークの外部で維持することだと思います」

メールの脅威は、今後も引き続き重大な問題であることに変わりはありません。しかし、このような脅威を寄せ付けない、適切な防壁で守られているという安心感が当社にはあります。

## 防御の最前線で保護する

キャセイパシフィック航空 では 2001 年から メッセージラボ の アンチウイルスおよびアンチスパムサービスを利用しています。「メッセージラボ のサービスを評価したところ、納得のいく結果で当社の必要条件をクリアしていました」と Yeung 氏は語ります。「メッセージラボ のサービスには、絶えず変化する当社固有のニーズに対応できる拡張性があります」

メッセージラボのアンチウイルスサービスは、すべての送受信メールをスキャンしてインターネット脅威を検出し、メールと添付ファイルの暗号化機能も組み込んでいます。メッセージラボ 独自の人工知能 Skeptic™ と、その他の複数層からなる検出技法の組み合わせは、未知のウイルスでも検出できる予測型の技術を実現し、シグネチャの遅れという制約にとらわれない保護を可能にしています。

メッセージラボ のサービスで提供される Web ベースの集中管理コンソールを通じて、キャセイパシフィック航空 はメールセキュリティの詳細データや統計情報を表示することができます。設定および管理機能(カスタマイズ、感染したメールの解放など)も、すべてこの中央コンソールから操作できます。

管理者が個々のユーザーのニーズに合わせてメールセキュリティコントロールを設定し、送受信トラフィックに関するポリシーを指定することができるので、安全性と使いやすさのバランスが取れます。同社はこの方法でネットワークに到達するメールコンテンツを強力に制御し、メールの利用規約を確実に順守できるようにします。

## これからはマネージドホステッドメールセキュリティサービス

セキュリティ管理が簡易化され、運用に必要な労力が軽減されたため、キャセイパシフィック航空 では管理とサポート費用の節約、総所有コスト(TCO)の削減を実現しています。

中央の管理コンソールによるメリットは非常に大きく、メールトラフィックをより正確に把握するとともに、メールポリシーの監査証跡と強力な制御能力を確保できるようになりました。

「メールの脅威は、今後も引き続き重大な問題であることに変わりはありません。しかし、このような脅威を寄せ付けない、適切な防壁で守られているという安心感が当社にはあります」と Yeung 氏は語ります。